

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高1年 2名		ワークシート

年間目標	(知及技) 知識及び技能		日常生活や社会生活に必要な国語の知識を身につける。(中1段階)				
	(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養う。(中1段階)				
	(学・人) 学びに向かう力、人間性		言葉がもつよさに気づくとともに国語で考えたり、伝え合ったりしようとする態度を養う(中1段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	
1学期	4月	4	(知及技) 学校・日常生活で目にする漢字を読むことができる、「自立」の上で必要と思われる漢字を書くことができる。	(知・技) 学校・日常生活で目にする漢字を読み、「自立」の上で必要と思われる漢字を書いている。	・漢字学習	・ワークシートを活用して、自分の漢字の読み書きの力を知る。	
	5月	8	(思判表力) 物語などを読み、様々な日本語の表現を知り、親しむことができる。	(思・判・表) 物語などを読み、様々な日本語の表現を知り、親しんでいる。	・物語に親しむ	・時候や時期に合った作品を読み感想を発表する。	
	6月	8	(思判表力) 自分が体験したことや感じたことを書くことができる。	(思・判・表) 自分が体験したことや感じたことを作文している。	・お礼状を書こう	・手紙の書き方を知る。 ・現場実習でお世話になった方々にお礼の手紙を書く。	
	7月	4	(学・人) 学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出しができる。	(主学) 学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出している。	・学期のまとめ	・夏テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。	
2学期	9月	8	(知及技) 日常生活で使用する「しまくどうば」に親しむことができる。	(知・技) 日常生活で聞いたことのある「しまくどうば」を通して、「しまくどうば」の現状を理解している。	・しまくどうば	・しまくどうばで書かれた紙芝居を読む。 ・「しまくどうば」とは何かを知る。	
	10月	8	(思判表力) 古文などを読んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しむことができる。	(思・判・表) 古文などを読んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しんでいる。	・古文に親しむ	・古文を読んだり、暗唱したりする。	
	11月	8	(思判表力) 自分が体験したことや感じたことを書くことができる。	(思・判・表) 自分が体験したことや感じたことを作文している。	・お礼の手紙を書こう②	・現場実習でお世話になった事業所の方にお礼の手紙を書く。	
	12月	6	(知及技) 年賀状を書くことを通して、季節の節目に交わす挨拶状で用いる語句があることを知り、年賀状に書くことができ。る。	(知・技) 年賀状に必要な言葉を知り、年賀状を書く。	・年賀状を書こう	・年賀状の作成。	
3学期	1月	4	(学・人) 毛筆を使用して、筆圧などに注意して書くことができる。	(主・学) 書き初めを書こうとする。	・書き初めを書こう	・書き始めから書き終わまでを無理なくつないで書くことができるよう	
	2月	8	(思判表力) 詩などを読んだり、作ったりして様々な日本語の表現を知り、親しむことができる。	(思・判・表) 詩などを読んだり、作ったりして様々な日本語の表現を知り、親しんでいる。	・文章に親しむ	・時候や時期に合った作品を読んだり、自分で作ったりする。	
	3月	4	(思判表力) 自分が体験したことや感じたことを作文に書くことができる。	(思・判・表) 自分が体験したことや感じたことを作文している。	・年間を振り返ろう	・行事等に合わせて作文をし、発表をする。	
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業(実技、実習を含む)に対する取組姿勢					

令和7年 高等部 2年 (Ⅱ課程久米島高校分教室) 国語科 年間指導計画 (シラバス)

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高2年 2名		ワークシート

年間目標	(知及技) 知識及び技能		社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようする。(高1段階)			
	(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめるができるようになる。(高1段階)			
	(学・人) 学びに向かう力、人間性		言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容 教科等横断的視点 他教科との関連
I 学期	4月	4	(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うことができる。	(知・技) 漢字の学習において、文を漢字を交えて書くことができる。	・漢字学習	・ワークシートを活用して、自分の漢字の読み書きの力を知る。 社会、理科、家庭科、職業
	5月	8	(思判表力) 物語などを読み、様々な日本語の表現を知り、親しむことができる。	(思・判・表) 物語などを読み、様々な日本語の表現を知り、親しんでいる。	・物語に親しむ	・時候や時期に合った作品を読み感想を発表する。 社会、理科、音楽、美術、家庭科
	6月	8	(思判表力) 自分が体験して感じたこと、考えたことを書くことができる。	(思・判・表) 自分が体験したことや感じたことを作文している。	・お礼の手紙を書こう①	・現場実習でお世話になたった事業所の方にお礼の手紙を書く。 社会、理科、家庭科、体育、職業
	7月	4	(学・人) 学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出しができる。	(主学) 学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出している。	・学期のまとめ	・夏テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。 国語、数学
2 学期	9月	8	(知及技) 日常生活で使用する「しまくどうば」に親しむことができる。	(知・技) 日常生活で聞いたことのある「しまくどうば」を通して、「しまくどうば」の現状を理解している。	・しまくどうば	・しまくどうばで書かれた紙芝居を読む。 ・「しまくどうば」とは何かを知る。 社会
	10月	8	(思判表力) 古文などを読んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しむことができる。	(思・判・表) 古文などを読んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しんでいる。	・古文に親しむ	・古文を読んだり、暗唱したりする。 社会、理科、音楽、美術、家庭科
	11月	8	(思判表力) 自分が体験したことや感じたことを作文できる。	(思・判・表) 自分が体験したことや感じたことを作文している。	・お礼の手紙を書こう②	・現場実習でお世話になたった事業所の方にお礼の手紙を書く。 社会、理科、家庭科、体育、職業
	12月	6	(知及技) 年賀状を書くことを通して、季節の節目に交わす挨拶状で用いる語句があることを知り、年賀状に書くことができる。	(知・技) 年賀状に必要な言葉を知り、年賀状を書く。	・年賀状を書こう	・年賀状の作成。 国語、社会
3 学期	1月	4	(学・人) 毛筆で書くことを通して、今年の目標を考え校とする。	(主学) 意欲的に書き初めを書こうとする。	・書き初めを書こう	・書き初めを書く。 社会、理科、家庭科、職業
	2月	8	(思判表力) 詩などを読んだり、作ったりして様々な日本語の表現を知り、親しむことができる。	(思・判・表) 詩などを読んだり、作ったりして様々な日本語の表現を知り、親しんでいる。	・文章に親しむ	・時候や時期に合った作品を読んだり、自分で作ったりする。 社会、理科、音楽、美術、家庭科
	3月	4	(思判表力) 自分が体験したことや感じたことを作文できる。	(思・判・表) 自分が体験したことや感じたことを作文している。	・年間を振り返ろう	・行事等に合わせて作文をし、発表をする。 社会、理科、家庭科、体育、職業
留意点 引継等						
評価方法		・三観点の確認 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高3 2名		ワークシート

年間目標	(知及技) 知識及び技能		社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようする。(高2段階)			
	(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめるができるようにする。(高2段階)			
	(学・人) 学びに向かう力、人間性		言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高2段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容 教科等横断的視点 他教科との関連
1学期	4月	5	(知及技) 学校・日常生活で目にする漢字を読むことができ、「自立」の上で必要と思われる漢字を書くことができる。	(知・技) 学校・日常生活で目にする漢字を読み、「自立」の上で必要と思われる漢字を書いている。	・漢字学習	・繰り返し読み書きの反復練習を行う。 社会、理科、家庭科、職業
	5月	8	(思判表力) 物語などを読み、様々な日本語の表現を知り、親しむことができる。	(思・判・表) 物語などを読み、様々な日本語の表現を知り、親しんでいる。	・物語に親しむ	・時候や時期に合った作品を読み感想を発表する。 社会、理科、音楽、美術、家庭科
	6月	8	(思判表力) 自分が体験したことや感じたことを作文できる。	(思・判・表) 自分が体験したことや感じたことを作文している。	・作文	・行事等に合わせて作文をし、発表をする。 国語、理科、体育、美術、職業
	7月	5	(学・人) 学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出すことができる。	(主学) 学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出している。	・学期のまとめ	・夏テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。 国語、数学
2学期	9月	8	(知及技) 学校・日常生活で目にする漢字を読むことができ、「自立」の上で必要と思われる漢字を書くことができる。	(知・技) 学校・日常生活で目にする漢字を読み、「自立」の上で必要と思われる漢字を書いている。	・漢字学習	・繰り返し読み書きの反復練習を行う。 社会、理科、家庭科、職業
	10月	8	(思判表力) 古文などを読んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しむことができる。	(思・判・表) 古文などを読んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しんでいる。	・古文に親しむ	・古文を読んだり、暗唱したりする。 社会、理科、音楽、美術、家庭科
	11月	8	(思判表力) 自分が体験したことや感じたことを作文できる。	(思・判・表) 自分が体験したことや感じたことを作文している。	・作文	・行事等に合わせて作文をし、発表をする。 社会、理科、家庭科、体育、職業
	12月	7	(学・人) 2学期の学習を振り返り、3学期への課題を見出すことができる。	(主学) 2学期の学習を振り返り、3学期への課題を見出している。	・2学期のまとめ	・テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。 国語、数学
3学期	1月	5	(知及技) 学校・日常生活で目にする漢字を読むことができ、「自立」の上で必要と思われる漢字を書くことができる。	(知・技) 学校・日常生活で目にする漢字を読み、「自立」の上で必要と思われる漢字を書いている。	・漢字学習	・繰り返し読み書きの反復練習を行う。 社会、理科、家庭科、職業
	2月	8	(思判表力) 詩などを読んだり、作ったりして様々な日本語の表現を知り、親しむことができる。	(思・判・表) 詩などを読んだり、作ったりして様々な日本語の表現を知り、親しんでいる。	・文章に親しむ	・時候や時期に合った作品を読んだり、自分で作ったりする。 社会、理科、音楽、美術、家庭科
留意点 引継等						
評価方法			・三観点の確認 ・提出物の状況	・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・単元テスト ・小テスト	・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度	